

## 大学等誘致・連携 WGの活動

## 概要

- ① 大学研究機関等の誘致に関して、ニーズ調査の必要性などを確認。今後調査を開始予定。
- ② ヘルスツーリズムの取組について、モデルケースを検討。
- ③ 広島大学呉サテライトの更なる活用方策を検討。

## テーマ毎の進捗

## ① 大学研究機関等の誘致に向けて

## ● 大学誘致に関する論点を整理

- ・呉市を住みよいつ感じている高校生は多い 高校3年生(1,424人)の77%
- ・必要とされている大学が呉市にあれば、若者の流出を防ぐことも可能。

## 進学を希望する地域 (進学希望者) 全体 男性 女性

1位 広島県内(呉市以外)	⇒	59%	52%	64%
2位 大阪圏	⇒	9%	8%	9%
3位 中国地方(広島県以外)	⇒	8%	11%	6%
4位 東京圏	⇒	6%	9%	4%
5位 呉市内	⇒	5%	2%	7%

○広島県内に進学を希望する理由は、「進学したい学校が地元にあるから」が63%と最も高く、「下宿や仕送りなどでお金がかかるから」が19%と続いています。

○一方、広島県外に進学を希望する理由は、「進学したい学校が市(県)内がないから」が38%で最も高く、「希望する学部、学科が市(県)内がないから」の30%を合わせると7割弱となっています。

(高校生の定住志向に関するアンケート調査結果について H27 呉市調査)

## 【今後について】

ニーズを把握するために、アンケート調査、ヒアリングなどの実施を検討

- (検討項目)・対象:高校生, 高等学校教員, 企業など ・手法:アンケート調査, ヒアリングなど  
 ・内容:必要とされる人材像, 大学像, 教育内容 ・どこに必要なか 等

## ② ヘルスツーリズムについて

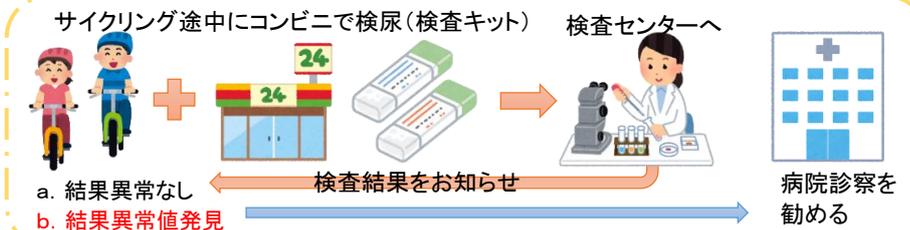
## ● 呉市の取組や医療機関が集積していることを活かした

「健康」をキーワードにしたヘルスツーリズム

- ・無関心層や結婚を機に健康を考えるようになった層に向けてPRできる取組とすることで、ターゲットを広げることができる。
- ・健康だと思っている人が、気軽に行える検診、測定などを通じて、疾患を発見し、早期に対処できた事例などが出来れば、健康づくりのまち「くれ」をPRできる。
- ・サイクリングをしている人は、心臓や血液など循環器系のことは意識していると思われるが、肝機能やがんについては、それほどではないと考えられる。尿検査から分かることも多い。

## 【今後について】

呉市のロケーションを活かしたサイクリング+身近に立ち寄れるコンビニ等を検診スポットにした取組をモデルケースとして検討



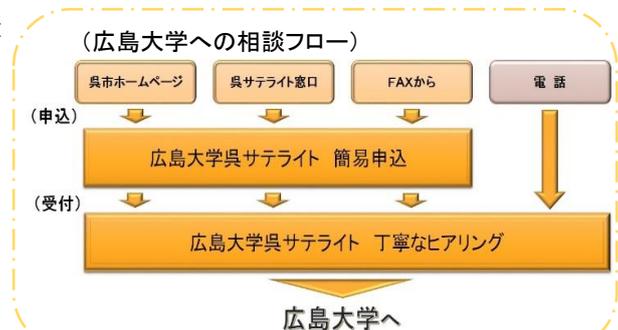
## ③ 大学研究機関等の連携の活用

## ● 広島大学呉サテライトを市民や民間企業等に活用してもらおう取組

- ・市民や民間企業にまだ知られていない。
- ・シンポジウムや公開講座を開催し、呉サテライトの存在を継続的にPRする必要がある。
- ・広島大学への問合せ・相談の窓口として、相談がしやすい環境(申込み方法など)を検討する必要がある。

## 【今後について】

- ・呉市での起業・創業の実態をベースにしたシンポジウムの検討
- ・呉市ホームページ(広島大学呉サテライト)での簡単な問合せ・相談申込み方法の準備



くれワンダーランド構想推進会議 大学等誘致・連携WG  
構成員からの意見（要約）

① 大学研究機関等の誘致に向けて

- ・ 呉市に求められる学校等について、地域にどんなニーズがあるのか調査する必要がある。
- ・ 医療系の大学には全国から学生が集まるが、卒業後は、各々の出身地ないし都市部へ行ってしまう。定着という視点では向かないのではないか。
- ・ 外国人留学生を受け入れ、そのまま呉で仕事に就いて貰うということも必要になってくる。外国人や様々な宗教の方の受け入れについても考える必要がある。
- ・ （高校生の定住志向に関するアンケート調査結果について）進学したい学校が市（県）内にないことから県外に出たため、調査結果の内容には共感する。進学には、その先の就職を含めた視点が必要だ。

② ヘルスツーリズムについて

- ・ 医療ツーリズムとは、富裕層が最先端の医療機器による検診を受けるとともに、食や観光を楽しむというものが一般的なものだが、呉の病院の場合、世界に負けない設備はあるが、世界最先端の設備を揃えているという訳ではなく、医療ツーリズムには向かない。
- ・ 保険診療で行われる最新の検査とは別のところにターゲットを置き、「健康」をキーワードとしたツーリズムを打ち出すのが良い。
- ・ 若い世代でも結婚を機に、無関心であった体のことや健康が気になり、しっかりと検診を受けたいというニーズがある。そういう人たちに観光を絡めれば呼び込めるのではないか。
- ・ 医療機関でいきなり検診を勧めるよりも、もっと手軽に検査・測定などを行い、必要と判断された場合に、医療機関で検査するという仕組みはどうか。コンビニ等気軽に立ち寄られる場所が良いと考える。

② 大学研究機関等の連携の活用

○ 効率的な技術相談の仕組みの検討

- ・ 専門的な意見がもらえるということは、市民、事業者にとって大変有益なことだが、広島大学を活用といっても、敷居が高い、あるいは難しそうだという感じがある。
- ・ 広島大学呉サテライトは気軽に相談できる窓口だということをもっと打ち出せば良いのではないか。
- ・ 問合せや相談を気軽にしてもらうために、Web申込みなどは選択式にし、項目も最小限にするなど、徹底的に簡易にする必要がある。申込みがあった後に、丁寧にヒアリングを行い、広島大学に繋ぐためのフォーマットに落とし込めれば良いのではないか。

くれワンダーランド構想推進会議 大学等誘致連携WG スケジュール(案)

項目								
	8	9	10	11	12	1	2	3
推進会議の開催	● 第1回(8月5日)							● 第2回(3月末頃)
WGの開催 (意見交換テーマ)			● 第3回(予定)				● 第4回(予定)	
①大学研究機関等の誘致に向けて	ニーズ調査項目検討		● ニーズ調査実施(予定)		調査結果集約		● 調査結果検証	● 報告
②ヘルスツーリズムについて	モデルケースの検討		● 検討内容報告	実施可能なイベント等の確認		● 検証	● 報告	
	健康づくりを発信するHPの検討		● 内容検討	● HP公開			● 検証	● 報告
			発信すべき情報など					
③大学研究機関等の連携の活用	● 検討	● HP公開		● 検証・HP公開		● 検証	● 報告	
・効率的な技術相談の仕組みの検討	Web申込みフォーマットなどの検討		相談件数等		検証内容の反映		相談件数等	
・シンポジウム、公開講座等の検討			● 講座等の検討	講座等の開催				● 報告
					広島大学等と協議し、講座等の実施時期などを決定、開催する			

### 3 高校生の定住志向に関するアンケート調査結果について

#### 1 調査の概要

##### (1) 調査の目的

高校生の進学や就職、定住に関する意見などを調査することにより、人口ビジョン及び総合戦略の検討に活用します。

##### (2) 調査の設計

調査対象 呉市内の高校（広島県調査実施対象の呉工業高校を除く。）の3年生 1,424人  
 調査方法 学校において配布・回収  
 調査実施期間 平成27年5月19日～6月3日

##### (3) 回収結果

有効回収数 1,424票（回収率100%）

#### 2 調査結果の概況

今回の調査結果における主な特徴点は次のとおりです。

##### (1) 卒業後の進路について

- ア 卒業後の進路希望をみると、8割弱が進学を希望し、就職希望は17%となっています。
  - イ 進学を希望する地域をみると「広島県内（呉市以外）」が59%と高く、呉市を含めた県内への進学希望が6割を超えています。
  - ウ 就職を希望する地域をみると、「呉市内」50%、「広島県内（呉市以外）」43%で、就職希望者の9割以上が広島県内での就職を希望しています。
  - エ 広島県内での就職を希望する理由をみると、「就職したい企業が市（県）内にあるから」が40%と最も高く、「地元から離れる必要性を感じないから」36%、「地元に離れて一人暮らしができるか不安だから」16%、「家族との同居のため」16%の順になっています。  
 ただし、女性が「就職したい企業が市（県）内にあるから」が25%で男性の半数となっています。
- 進学では6割が、就職では9割の学生が県内を希望しており、特に就職における地元志向が高くなっています。若い世代の就職時の地元志向の希望をかなえるためには、より幅広い分野の雇用の場の創出が必要です。

##### (2) 呉市について

- ア 呉市の住み良さについてみると、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」を合わせて、77%の学生が「住みよい」と評価しており、呉市民意識調査の70%を上回っています。  
 一方で、「住みにくい」理由では「通学」61%、「買物環境」56%が高く、「就業などの雇用環境」13%が続いています。
  - イ 呉市に住み続けるために必要なことをみると、「レジャー・娯楽施設の充実」、「買物環境の充実」が37%と高くなっています。  
 そのほか、「公共交通機関の充実」や「雇用の充実」が20%以上となっています。
- 「レジャー・娯楽施設の充実」、「買物環境の充実」、「雇用の充実」を図るためには、第3次産業の振興などによる、若者のニーズに即したおしゃれで魅力的な場の創出が必要です。

### 3 調査結果

#### (1) 卒業後の進路について

進路希望（回答者全員）	全体	男性	女性
1位 四年制大学（文系） ⇒	31%	27%	35%
2位 四年制大学（理系） ⇒	28%	34%	24%
3位 就職 ⇒	17%	24%	12%
4位 専修学校・各種学校 ⇒	15%	10%	19%

（図1）

- 性別でみると女性で専修学校・各種学校が19%と高くなっている一方で、男性の就職希望は24%と女性の2倍に近くなっています。
- 県が実施したアンケート結果では、「四年制大学（文系）」31%、「四年制大学（理系）」33%、「就職」16%、「専修学校・各種学校」10%となっています。

進学を希望する地域（進学希望者）	全体	男性	女性
1位 広島県内（呉市以外） ⇒	59%	52%	64%
2位 大阪圏 ⇒	9%	8%	9%
3位 広島県以外の中国地方 ⇒	8%	11%	6%
4位 東京圏 ⇒	6%	9%	4%
5位 呉市内 ⇒	5%	2%	7%

（図2）

- 進学を希望する地域として「広島県内」「呉市内」と回答した合計が64%となり、県が実施したアンケート結果（広島県内を希望41%）より23%高くなっています。県が実施したアンケート結果では、「広島県内」41%、「東京圏」17%、「大阪圏」13%、「広島県以外の中国地方」10%となっています。
- 広島県内に進学を希望する理由は、「進学したい学校が地元にあるから」が63%と最も高く、「下宿や仕送りなどでお金がかかるから」が19%と続いています。
- 一方、広島県外に進学を希望する理由は、「進学したい学校が市（県）内がないから」が38%で最も高く、「希望する学部、学科が市（県）内がないから」の30%を合わせると7割弱となっています。

図1 卒業後の進路希望（回答者全員）

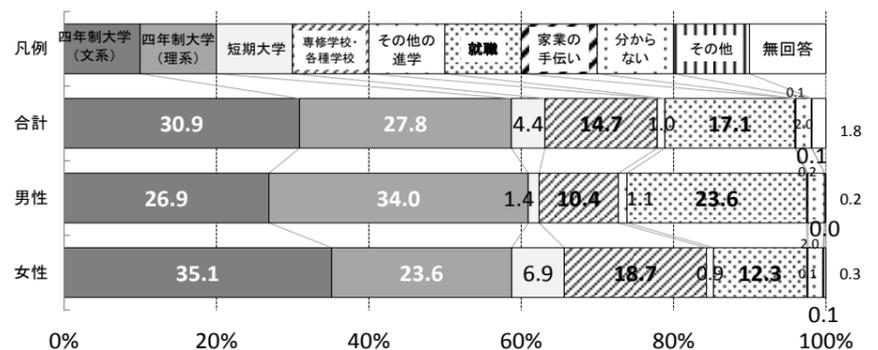
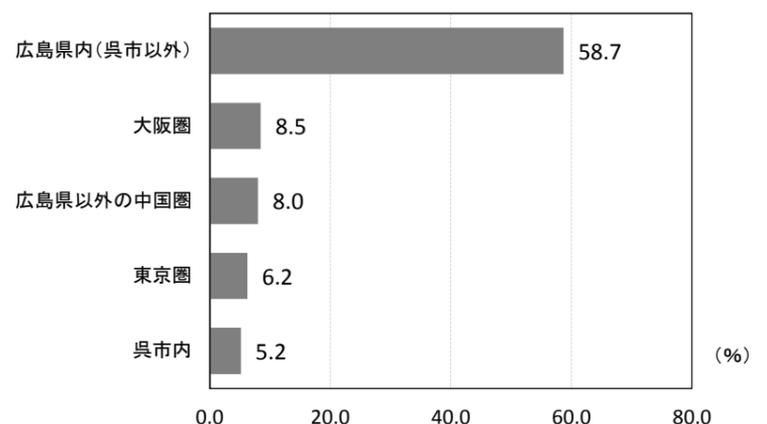


図2 進学を希望する地域（進学希望者）



就職を希望する地域（就職希望者）	全体	男性	女性
1位 呉市内	⇒ 50%	52%	47%
2位 広島県内（呉市外）	⇒ 43%	40%	47%
3位 東京圏	⇒ 2%	3%	1%

○県が実施したアンケート結果では、「広島県内」93%、「東京圏」2%、「大阪圏」1%となっています。

**呉市内、広島県内を希望する理由（市内県内就職希望者）**

	全体	男性	女性
1位 就職したい企業が市（県）内にあるから	⇒ 40%	50%	25%
2位 地元を離れるの必要性を感じないから	⇒ 36%	38%	33%
3位 地元を離れて一人暮らしができるか不安だから	⇒ 16%	10%	26%
4位 家族との同居のため	⇒ 16%	6%	31%

(図3)

○女性の「就職したい企業が市（県）内にあるから」が25%と男性の約半分となっています。一方で「地元を離れるの必要性を感じない」、「家族との同居のため」は男性より高くなっています。

○県が実施したアンケート結果では、「地元を離れるの必要性を感じない」42%、「就職したい企業が県内にあるから」37%、「友達や知り合いと離れたくないから」17%となっています。

広島県外を希望する理由（県外就職希望者）	全体	男性	女性
1位 就職したい企業が市（県）内にないから	⇒ 28%	33%	17%
2位 都会で暮らしてみたいから	⇒ 28%	25%	33%
3位 地元を離れて一人暮らしをしたいから	⇒ 22%	33%	0%
4位 保護者の元を離れて自立したいから	⇒ 22%	33%	0%

(図4)

○県が実施したアンケート結果では、「地元を離れて一人暮らしをしたいから」25%、「保護者の元を離れて自立したいから」25%、「就職したい業種や職種が県内にないから」8%となっています。

図3 呉市内、広島県内を希望する理由（市内県内就職希望者）

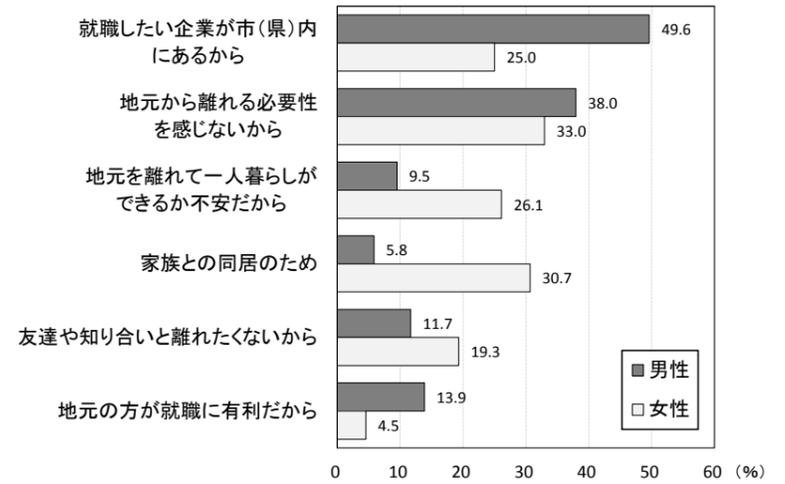
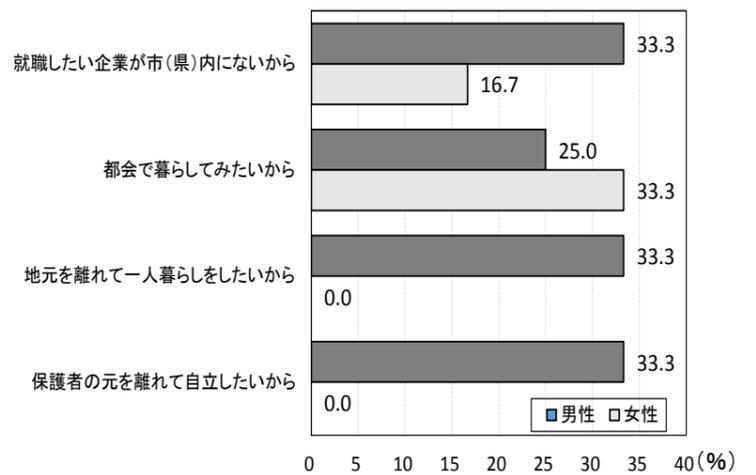


図4 広島県外を希望する理由（県外就職希望者）



(2) 呉市について

呉市の住み良さ（呉市在住者）	全体
呉市を住みよと感じている人	⇒ 77%
呉市を住みにくと感じている人	⇒ 18%

(図5)

(参考) 呉市民意識調査

呉市を住みよと感じている人	⇒ 70%
呉市を住みにくと感じている人	⇒ 23%

呉市への愛着（呉市在住者）	全体	男性	女性
1位 呉市に愛着を感じる人	⇒ 64%	68%	62%
2位 呉市に愛着を感じない人	⇒ 10%	12%	8%
3位 わからない	⇒ 25%	19%	29%

(参考) 呉市民意識調査

呉市に愛着を感じている人	⇒ 70%
--------------	-------

○呉市民意識調査と比べると「呉市を住みよと感じている人」が7%高くなっています。一方で「呉市に愛着を感じている人」が6%低くなっています。

継続的な居留意向（呉市在住者）	全体	男性	女性
1位 呉市に住み続けたい	⇒ 31%	30%	32%
2位 市外へ転出したい	⇒ 18%	17%	18%
3位 呉市内で移りたい	⇒ 8%	8%	8%
4位 分からない	⇒ 29%	28%	30%

(図6)

住み続けるために必要なこと（呉市在住者）	全体
1位 レジャー・娯楽施設の充実	⇒ 37%
2位 買物環境の充実	⇒ 36%
3位 公共交通機関の充実	⇒ 24%
4位 雇用の充実	⇒ 21%

(図7)

図5 住み良さ（回答者全員）

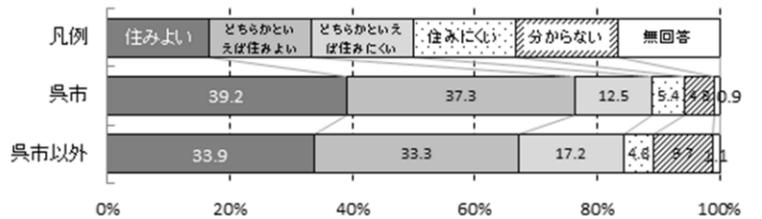


図6 継続的な居留意向（呉市在住者）

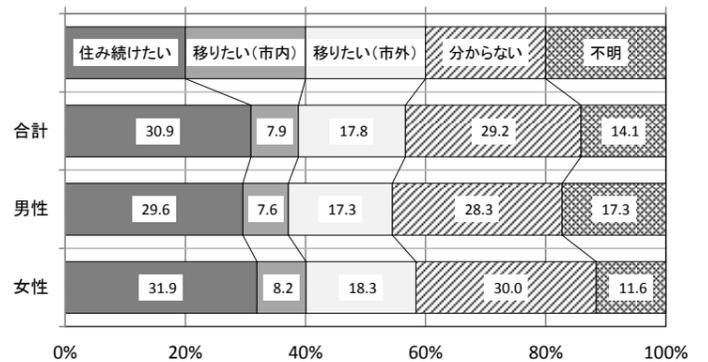


図7 住み続けるために必要なこと（呉市在住者）

